



Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no.22

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

松橋工業 社長

松橋 栄作 様

先代の後を継ぎエレベーターやホールなどの舞台の据え付け、メンテナンス業務を営む松橋工業社長の松橋栄作氏。私たちの見えないところで、暮らしの安全やエンターテイメントを支える仕事に対する思いを伺いました。

■各地のエレベーターや舞台をメンテナンス

——主な事業内容を教えてください。

父が建設業として始めてから、かれこれ40年近くになります。昔は本格的な鍛冶屋みたいな感じでやっていたのですが、いろんな方とお付き合いさせていただきながら、一般的な建築などをやりながら、エレベーターの据え付けや、舞台の据え付けなどの仕事をやるようになりました。父は60歳くらいで引退し、私が後を継ぎ社長になりました。父は7年前に他界し、今は主にエレベーターや舞台の保守点検というメンテナンス関係の仕事をやっています。

本当は学生時代アルバイトしていた経験もあり、飲食店や喫茶店などで働く事が好きで、自分でお店を持ちたいという気持ちがありました。しかし事業を

大きくするという思惑や、また、長男なので戻って来てもらいたいという両親の希望もあったので家業を手伝うことになりました。喫茶店をやると言ってもお金を貯めるまで時間がかかるじゃないですか。若いうちはなかなか稼げないし、その頃付き合っていた彼女と結婚したいなと思うこともあって、とりあえず家で働いて、結婚資金を蓄えようと思ったのもきっかけです。結局その彼女とは結婚しなかったんですけど（笑）。

——舞台の据え付けとは？

大きい舞台では日生劇場はじめ、宝塚劇場、国立劇場など、全国いろんなホールがありますが、各地ホールの舞台のメンテナンスの仕事です。親会社がエレベーターや遊戯系の舞台のメンテナンスをやっている会社なので、その下請けの仕事をやっています。父の時代にはディズニーランド

の開業時の据え付け作業なんかもしました。各地のホールで据え付けをして、お客様にお渡しします。いろんな装置が付いていますので、その点検です。古い所だと、施工当時はなかった装置等もありますから、こういうものを追加してくれという依頼などがあります。そういう時は親会社の方で設計したものを据え付けたりしています。





自分が携わったものが形になって でき上がる**達成感**が仕事の**喜び**

— エレベーターの保守点検は、どのようなことをされているんですか？

階数にもよりますが、1時間から2時間の間で、電気系統の関係を重点的にチェックします。扉の開閉はスムーズか、閉じ込めが起きないかなど。電気の接触不良で扉の関係で閉じ込められたりということもありますので、ドア回りの点検を念入りにやっています。ドアの接点の不良が一番故障の原因になりやすい。扉をガタガタやって、接点がずれたりなんかすると電気が流れなくなって途中で止まったりするんです。

— 同業者のなかで、ここは他社に負けないというところを教えてください。

舞台関連で、舞台がセリ下がったりするのは、地下に穴をあけて下に降ろしていくというものなのですが、今は、タケノコ式といい、上にせり上がっていくものがあります。また、ワイヤーを使って演者が上から移動するもの等があります。そういうものは外国のものなんですけど、親会社が外国から輸入して施工しています。そんな時は時代の先端を行っているのかなと感じています。

■ 初心を忘れず安全作業でエンターテイメントや暮らしを支える

— この仕事をされていて、よかったと思うときはどんな時ですか？

結構高いところや一般の人には見られ



ないようなところで工事をすることがあります。そういうところに行って、景色が良くなって眺めたりできる。普通の人を感じられないことを体験できる。それにもまして、自分が携わったものが形になってでき上がる喜びというか、でき上がった時の達成感。それまでには結構辛いことがあるんだけど、でき上がってみると「苦労したけどよかったな」と充実した気持ちになる。その繰り返しですかね。

— 仕事をするうえで大切にしていることは何ですか？

何ごとも基本に忠実にやるということ。多少慣れてくるといい加減になってくる。そういう時に事故が起きたり、怪我をしたりしてしまう。だから常に初心に帰って最初の手順などを守ることが大切です。

— 危ない思いをされたことなどありませんでしたか？

ありますね。仲間内でも何人か危険な目に合った者もおります。要は注意不足なんです。一つ二つの過失ならば事故に

はなりません、間が悪く三つ重なると死亡事故など大きな事故につながってしまいます。

大きい建設現場の下請けの仕事になると、いろんな多種の業者が集まり、朝礼も何百人という感じになります。大きい現場になればなるほど規律も厳しい。ああいうところに行くとか規則正しく気持ちも引き締まる。みんなで注意して一日の方針を話し合う。できる人間だけが分かっている、分からない人間がいると、そういう人が怪我をしたりしてしまう。末端まで行きわたるミーティングが一番大事だと思います。

— 大切にしている言葉を教えてください。

「冬は必ず春となる」。どんな寒い冬があってもかならず暖かい春がやってくるという言葉が好きです。

辛いこともあるけど、プラス思考で行かないとね。なんでも自分で切り開いていかないと前は開いていかないからね。要は自分だけのことを考えるのではなくて、周りの人をフォローして、自然と自分も豊かになるような人間になればなと思っています。これからもそういう気持ちを持って頑張っていきたいと思っています。

<インタビューを終えて>

明るい人柄で軽妙な語り口の中、安全について話が及ぶときりっと一変した眼差しが印象的でした。若い頃は喫茶店をやったこと。こだわりの一杯を味わってみたい気がしました。